

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	20674002	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	人工衛星による偏光観測の実現とガンマ線バーストの放射機構の解明	研究代表者 (所属・職)	米徳 大輔（金沢大学・数物科学系・助教）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究はソーラーセイル衛星にガンマ線バースト用偏光検出器を搭載、観測し、ガンマ線バーストの放射機構を解明することを目的とする。本研究で製作した検出器は衛星打ち上げ後ガンマ線バースト検出器としての動作を実証し、その後順調に観測を続けており、当初目標に向けて設定したスケジュール通り進行している。</p> <p>今後はガンマ線バーストの偏光観測で世界初の成果を挙げるのが目標となる。ガンマ線の偏光度測定は極めて難しく、検出器の応答の詳細な検討を含め、観測データの慎重な解析が必要であるが、当初目標に沿った研究成果を挙げるための努力を期待したい。</p>	